4　研究構想図

学校教育目標

○ よ く 考 え る 子
◎ 心 の 豊 か な 子
○ じ ょ う ぶ な 子

教育関係法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
都の教育施策
市の教育施策

研究の背景

・これからの社会を生き抜く力の育成
・主体的・対話的で深い学びの必要性
・各教科等における言語活動の充実

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
⑵ 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
⑶　言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

児童の実態（課題）

・叙述をもとに考えをもつことができていない　・「なぜそう考えたか」まで伝えるのが苦手
・伝えようとするが、自分の言葉で表現することが苦手な児童が多い　・自信がもてず、考えが広がらない

研究主題

主体的に学び、自分の思いをすすんで表現できる子供の育成
～自分の考えをもち、感じたことや考えたことを共有する授業の工夫～

めざす児童像

低学年 感想をもち、友達に伝え合う子	中学年 友達の考えと自分の考えを比べながら すすんで伝えることができる子
描写をもとに思いや考えを表現し、 自分の考えを広げる子	特別支援 自分の考えを選択肢から選ぶことができる子 何らかの手段で、自分の考えを伝え合う子

研究主題に迫る具体的な手だて

低学年 ・学習シートの工夫 ・二人組での対話的な活動	中学年 ・考えを比較し、共通点や相違点を見いだす活動 ・一人一人の考えの違いを可視化する板書
高学年 ・単元を貫く言語活動の設定 ・共有の工夫　・描写を可視化する掲示物	特別支援 ・物語の魅力を伝えるパワーポイントの発表 ・振り返りのワークシートで学んだことを整理